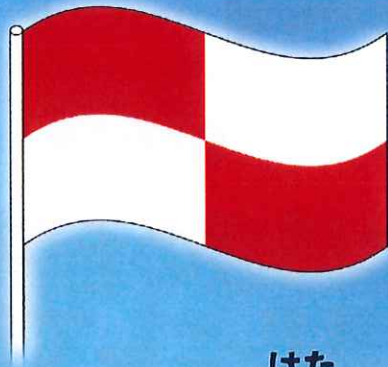


つなみ あいず
これは津波の合図です



つなみ
津波フラッグ

もしキミがこの旗をみたら・・・



たか ところ に いちばんさいしょ ひと
① 高い所へ逃げる「1番最初の人」になろう

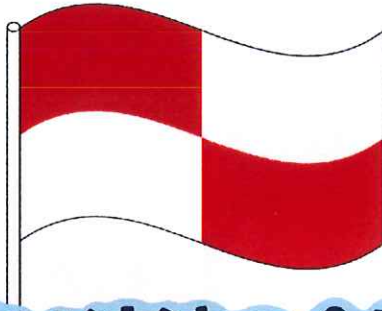


あんぜん ところ まわ ひと おし
② 安全な所から周りの人に教えてあげよう

はた いみ し ひと すく
この旗の意味を知ってる人はまだ少ないんだ・・・

みんなに教えてあげてね！
おし

津波フラッグ(津波タオル)



緊急時は津波の合図として
普段はタオルとして使えます

緊急時の行動

①なるべく詳細な情報を得る

到達予想時間や危険箇所・避難場所など（スマホやテレビ等）
分からない場合は即②へ

②安全な場所へ避難する

地震による道路の寸断や液状化等の可能性も考慮し余裕を持ち
徒歩で行動。避難所が分からない場合は少しでも高い所へ。

③旗を振り津波の危険や避難場所を伝える

スマホ等を持たない水遊び中の人、聴覚障がい者など津波警報
に気付けない人に合図し避難する場所を知らせる。

④救助に向かったり様子をみに行かない

津波てんでんこ、が基本とされています。

「津波てんでんこ」・・・津波が来たら、たとえ親でも放っておいて各自それぞれが自分の身を守ること、その様にして生き残った者を責めないこと。
先人たちの教えですが、実際にどこまでできるでしょうか。
現代では津波予想システムも発達し津波フラッグ等のツールもあります。
上手く利用して減災を目指し、子どもたち、またその次の世代へ伝えていきましょう。